

保護者のみなさまへ

和泉市教育委員会事務局
こども部こども未来室

現在、和泉市こども・子育て会議で公立保育所・公立幼稚園のあり方について審議されています。会議録や資料は、市のホームページからご覧になれますが、このたび、Q&Aを作成しました。

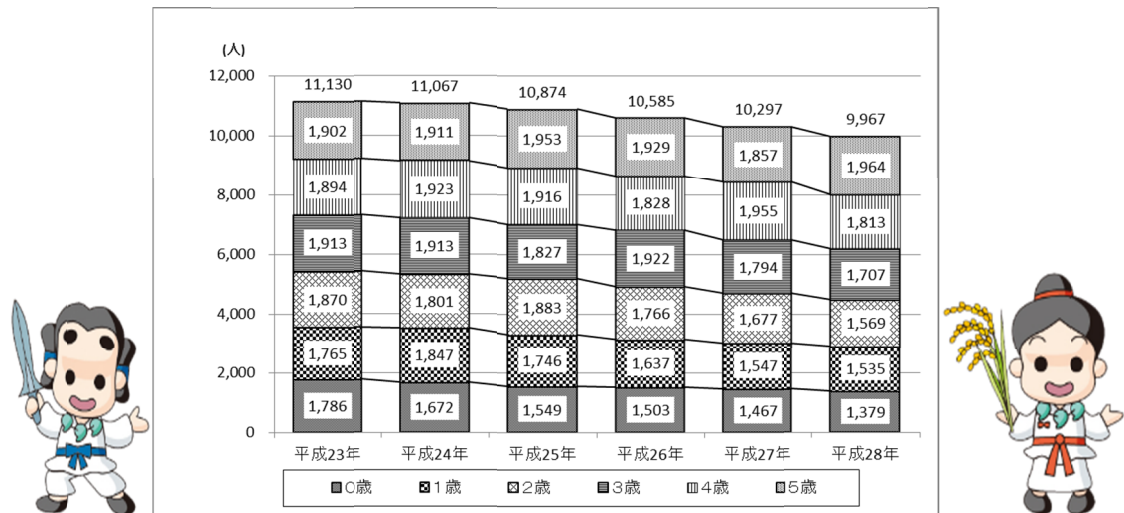
※和泉市こども・子育て会議とは、保護者・子ども子育て支援に関する事業に従事する者・学識経験者・公募市民・市長が必要と認める者(各種団体の代表者他)の16名で構成されており、市長又は教育委員会の諮問に応じて、本市の子ども・子育て支援に関する重要事項等について調査審議します。

次の日程で保護者説明会を開催します。
日 時 平成29年2月12日(日) 午前10時～
場 所 和泉市コミュニティセンター1階 大集会室(収容120名)
なお、公立保育所・公立幼稚園のあり方について保護者説明会を希望される場合は、園へお申し出下さい。

Q1 なぜ公立保育所・公立幼稚園のあり方を策定するのですか？

A1 近年、全国的に少子高齢化が進んでいますが、本市もその例外ではありません。これまでの他市からの転入によって、今は若い世代の人口が多い市となっていますが、いずれ人口が減少し、高齢者の人口が多いまちになると予測されています。財政面では、高齢者が増加すると医療費や福祉の費用が増えます。一方で、働く人も減りますので市税収入も減ります。今後、人口が減って厳しい財政状況になると予測されますが、次の世代に負担をかけすぎないように、民間の事業者の力を借りて待機児童の解消や、子育て支援施策を充実していくために公立園の再編について議論しています。

■就学前児童数の推移



Q 2 公立園の再編にはどのような利点や効果がありますか？

A 2 これまでにおいても、統廃合や民営化によって生み出した財源をもって、エンゼルハウス5か所、子育て支援センター5か所を開設し、こども医療費助成を段階的に通院は小学校6年生まで、入院は中学校3年生まで拡充、病児・病後児保育を開設するなど、子育て支援事業を大幅に拡充してきました。今後においても、公立園の再編による財源をもって、これまでの子育て支援施策の継続とさらなる拡充に努めます。

Q 3 公立幼稚園は今後どうなるのですか。

A 3 公立幼稚園が、幼児教育や子育て支援に関する調査研究、特別支援教育の研究などを実施する「拠点園」として有効に機能していくことが必要であるとの認識のもと、こうした役割を果たすための拠点となる園を残し、充実させます。

なお、公立幼稚園の運営方針として、和泉市幼児教育振興審議会において、「公立幼稚園における集団教育、並びに行財政上の効率性の観点から園児が20名に満たない園については、次年度から募集時期までに事前調査を実施し、その結果に基づき地元住民の理解が得られるよう適切に対応をしていく」との方向性が示されています。

Q 4 認定こども園はどんな施設ですか。公立の認定こども園を検討しますか。

A 4 認定こども園とは、教育・保育を一体的に行う施設で、いわば幼稚園と保育所の両方の良さをあわせ持つところudur。保護者が働いている、いないに関わらず利用でき、保護者の就労状況が変化した場合でも、通い慣れた園を継続して利用できることが大きな特徴です。また、認定こども園には子育て支援の場が用意されており、園に通っていない子どものご家庭も、子育て相談や親子の交流の場への参加など利用することができます。

なお、隣接する北松尾保育園と北松尾幼稚園を一体として認定こども園化する予定です。

Q 5 再編整備の順番や時期はすでに決まっているのですか？

A 5 今後の方向性を決めるものであり、今すぐに民営化や廃園をするものではありません。

将来の就学前児童の減少を踏まえ、中長期的な視点から公立保育所及び公立幼稚園の再編整備のための基本的な考え方を明らかにするため、あり方について検討を行っています。

問合せ窓口です。お気軽にお問合せください。

こども部こども未来室こども政策担当 電 話 0725-99-8135
こども部こども未来室保育幼稚園担当 電 話 0725-99-8137